

福島県病院事業管理者  
丹羽 真一 様

県立病院事業経営評価委員会  
委員長 竹之下 誠 一

#### 県立病院改革プラン取組状況の評価について

県立病院については、県立病院改革プランの基本目標である「地域に必要とされる質の高い医療の提供と病院経営の健全化」に向けて、様々な取組を推進しており、改革プラン3年目の平成23年度においても、取組を着実に実践したほか、財務面でも不良債務を解消するなど、一定の改善が図られており、概ね妥当であると評価できます。

なお、より住民の視点に立った県立病院の経営改善を進めるため、当委員会設置要綱第2条の規定に基づき、下記のとおり助言を行います。

#### 記

##### 1 新たな経営戦略の検討について

会津総合病院及び喜多方病院が、平成25年5月に県立医科大学会津医療センターに移行することが決まっており、県立病院事業の枠組みが大きく変わることから、県立病院として残る3病院(大野病院は除く)の強み・弱みを分析のうえ、「強み」を伸ばし特色ある病院づくりを目指すとともに、「弱み」を克服するための方策を検討するなど、新たな経営戦略を検討する必要がある。

##### 2 地域に信頼される病院づくりについて

患者ニーズに対応し患者満足度のさらなる向上につなげるため、患者さんのみならず、そのご家族や面会者から意見を聴取するなどニーズの把握に努めるとともに、それらに的確に対応しながら、地域に信頼される病院づくりを一層推進する必要がある。

##### 3 地域との連携について

地域との連携に当たっては、病院や医療従事者などとの連携だけではなく、地域住民との連携も重要であることから、引き続き、地域に出向き、県立病院が持つ専門知識や技術などを紹介するなど、地域住民と一体となった健康づくりに取り組む必要がある。